

昭和53年 8 月20日発行

四大学看護学研究会雑誌

(Journal of Universities' Nursing Research)

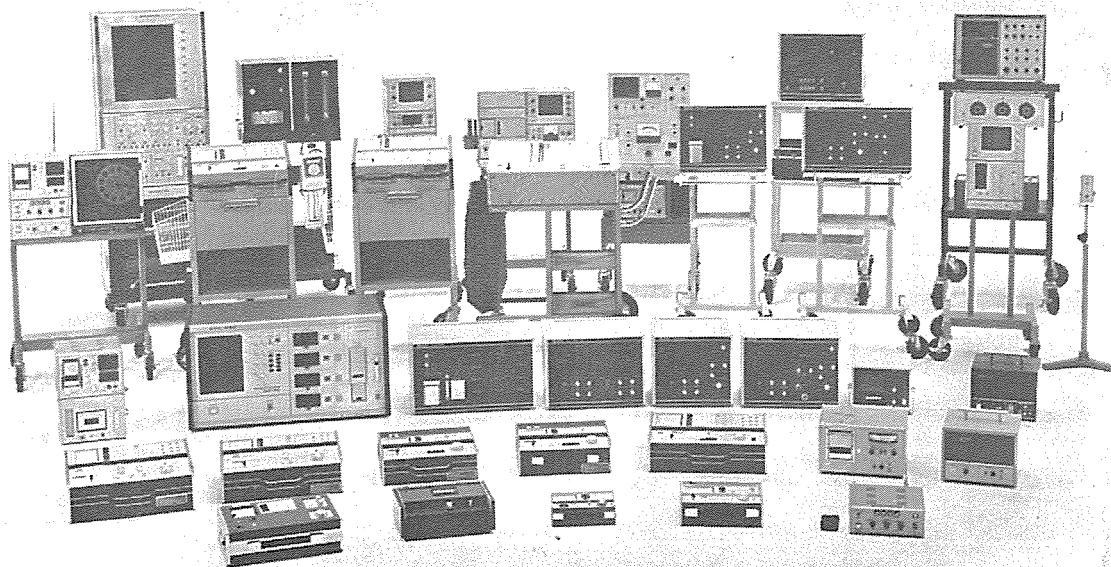
第4回四大学看護学研究会総会

—プログラム及び内容要旨—

四大学看護学研究会

心電計からシステムまで ME機器の総合メーカー

当社は 心電計の最初の国産化に着手して以来約40年、ひたすら人々の健康生活の向上を願って、ME機器の研究・開発につとめてまいりました。



- 心電計 心電心音計 脈波計 モニタスコープ 産科関連機器等 取り扱い易いポータブル製品の各種
- ポリグラフ 自動診断システム ICU・CCU患者監視装置等 時代の要求に応えるシステム製品の各種
- シーメンス社(西独) シーメンス/エレマ社(スウェーデン)のME製品からペースメーカーまで
- 血圧計 眼底カメラ IPPBレスピレータ 滅菌器等 広範な用途に合った各種ME機器



フクダ電子株式会社®

本 社 東京都文京区本郷3-39-4 ☎(03)815-2121(代) 〒113

第4回四大学看護学研究会総会

プログラム

会長 村越 康一

会期 昭和53年9月24日(日)

(9:00~17:00)

会場 千葉大学西千葉キャンパス

千葉市弥生町1-33

講演会場 教養部F号館講堂

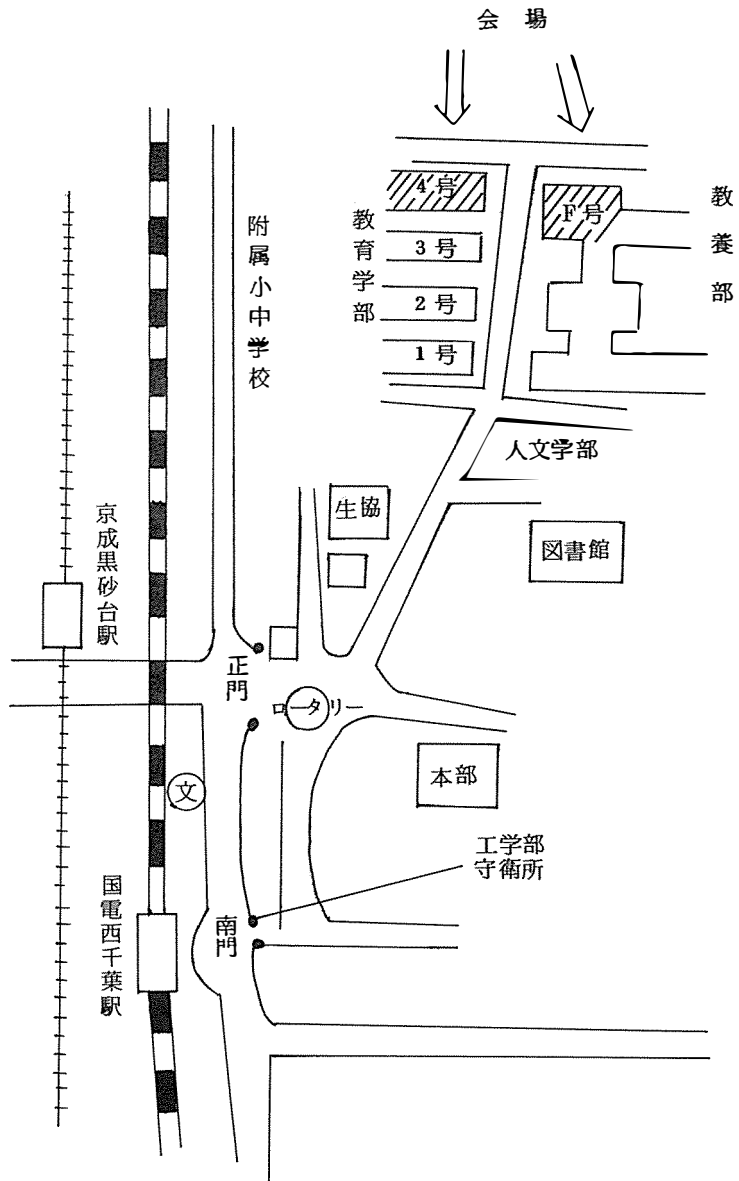
展示会場 教育学部4号館会議室

Tel.0472-51-6614(呼出)

四大学看護学研究会会場案内図

最寄駅 国 電（総武線）西千葉駅下車徒歩 15 分

京成電鉄（千葉線）黒砂台駅下車徒歩 10 分



学会運営についてお願い

会の運営が支障なく進行しますよう、下記の点について皆様の御協力をお願いします。

○ 会場費及び参加証

- 1) 本学会運営のため参加者から受付で会場費 1,000 円を納めていただき、引き換えに参加証をお渡しします。
- 2) 参加者は、相互の理解のため所定の参加証に所属と氏名を記入し、名札として胸におつけ下さい。

○ 演者及び質疑討論の方々に

- 1) 次演者は、演者登壇と同時に次演者席におつき下さい。
- 2) 一般演題は演説時間 7 分間とします。
予定時間 1 分前に予告ランプ（青灯）を点灯します。時間を厳守して下さい。予定時間となりましたら赤灯を点灯しブザーを鳴らします。時間超過の場合、座長から演説中止を申入れる場合もあります。
- 3) スライド使用は原則として一般演題では 10 枚以内として下さい。プロジェクターは 1 台準備します。
- 4) 追加発表をなさる方は予め座長に申出下さい。
追加発表の時間は 3 分とします。
- 5) 質疑・応答の場合、座長の指示を得て、発言の前にまづ所属・氏名をはっきりのべてから発言して下さい。
- 6) 討論の発言時間は 1 人・2 分以内として下さい。
- 7) 演者は演説終了後、演説原稿（コピーでも可）を進行係に提出して下さい。
- 8) 追加発表、質疑発言をされた方は発言後直ちに内容要旨を 200 字以内にまとめて、所属・氏名・発表演題番号を明記のうえ進行係に提出して下さい。また演者の回答発言について降壇後整理して同様提出して下さい。

○ 会場の電話連絡

当日は、0472-51-6614（教育学部専用電話）に連絡員をおきますが、お呼出しが困難ですから改めて掛け直しの方法を取りますので御承知下さい。

——第4回四大学看護学研究会総会プログラム——

午 前 の 部 8:55~12:20

開 会 8:55

A 一般演題 9:00~10:10

高等学校衛生看護科における諸問題

座 長 熊大・教育学部 木 場 富 貴
浜松市立高等学校 渡 辺 ひろみ

1) 高校衛看における諸問題ー准看資格の取得にからむ問題ー

浜松市立高校 ○佐 藤 祐 子他

2) 大分東明高校における衛生看護科の問題

大分・東明高校 ○麻 生 佳 澄

3) 高等学校衛生看護科における教育の現状と問題点

弘大・教育学部 ○大和田 恵 子他

4) 衛生看護科の看護実習からみるカリキュラムの問題点

○江 口 千 恵

5) 成人看護の指導の一工夫

鹿児島大・医学部付属病院 ○東 サトエ

10:15~10:35

座 長 千葉・教育学部 鵜 沢 陽 子

6) 含嗽水及び含嗽回数からみたマウスケアの検討

弘大・医学部附属病院 山 崎 昭 子

7) 現行消毒法の再検討ー超音波洗滌装置による消毒法ー

北里大附属病院 滝 幸 代他

10:40~11:10

座 長 弘大・教育学部 津 島 律

8) M D T (mirror Drawing Test) からみた性周期の心身に及ぼす影響について

千大・教育学部 茅 島 江 子他

9) デジタルアナログ情報とシステムズ理論を使ったpsychotherapy解析への一試み

近大・医学部公衆衛生学 早 川 和 生

10) 入院によっておこる患者の不安について

弘大・医学部附属病院 葛 西 祐 子

11:15~11:35

座 長 徳大・教育学部 池 川 清 子

11) 糖尿病患者の糖尿病に対する理解度の調査研究

静岡県立磐田北高校 佐 野 京 子他

12) 地域における寝たきり老人看護について

筑波大・附属病院 長 岡 多恵子他

B 四大学看護学研究会総会 11:40～12:10

議長 会長

(昼 食)

午後の部 13:30～17:30

C 特別講演 13:30～14:30 座長 会長

看護学の性格

高知女子大学 芝田 不二男教授

D シンポジウム 14:30～16:30

大学における看護学教育の検討 ―地域看護について―

座長 徳大・教育学部 村田 栄

1) 地域看護 ―看護教育とのかかわりにおいて―

徳大・教育学部 池川 清子

2) 訪問看護の問題点と展望

千大・教育学部 宮崎 和子

3) 成人看護における患者のニーズを中心として

熊大・教育学部 城 慶子 他

4) 地域看護実習の実情と今後の方向

弘大・教育学部 津島 律

質疑・討論

5) 座長まとめ

E 会長演説 16:30～17:30

座長 村田 栄

腎疾患の食事療法

会長 千大・教育学部 村越 康一

閉会 17:30

懇親会 18:00～19:30

研究会参加者，多数の御参加をお待ちしています。(会費 2,000円)

☆ 展 示 会 ☆ 9:00~16:00

会 場 教育学部4号館玄関ロビー及会議室

展 示 会 出 展 目 録

A) メカネイズ, アンビュリフト

患者の移動ならびに入浴のためにフォークリフトの原理を応用して開発された実用的な昇降装置。各種アクセサリーと組み合わせることによって、応用範囲の広い看護システムが実現できる。

（製造） 英国メカネイズ社

武田薬品工業株式会社医用機器部

会場担当者 叶 野 慎 一

B) 1) カルディオスーパ2E31A

患者監視から心電図検査までフルに活用出来る有線、無線両用の心電図監視記録装置です。病棟やIcu、Ccuでは無線伝送により、心電図・心拍数および心拍数長時間トレンドを監視出来ます。メモリースコープの採用により波形がみやすく、カスケード表示や波形停止が自由に行えます。アラーム発生時には心拍表示管に赤ランプが点滅し、ブザーで警報を発すると同時にその前後の心電図を自動記録します。

2) 特別出展 バイオフィジオグラフ （千大教育学部納）

三栄測器株式会社

会場担当者 上 楽 公 三

C) 図書・現代看護学・看護全書

本シリーズは、山村秀雄（東大医学部教授）内尾貞子（東大医学部附属看護学校教務主任）両氏の監修のもとに看護教育の教材，参考書，日常看護の実践書として企画編集された看護学シリーズである。

真興交易医書出版部

会場担当者 細 川 力
岩 崎 愛

D) 看護関係書籍及び雑誌

新刊・図書

医学書院

会場担当者 菊 田 高 利

E) 教材，実習モデル人形 2台

扱いやすく破損しにくいリアルな体形を持つ新製品です。

京都科学標本株式会社

会場担当者

F) 1) リップルベッド

一般病室用Fc型マットレス

手術台用Op型マットレス（参考出展）

特殊設計のフラストマニカル型エアースルを採用しているため身体の安定感，体重の分散性が良く床ずれの出来易い部分への圧迫を和わらげます。

“床ずれ”予防，治療用，エアーマットです。

2) リフパット

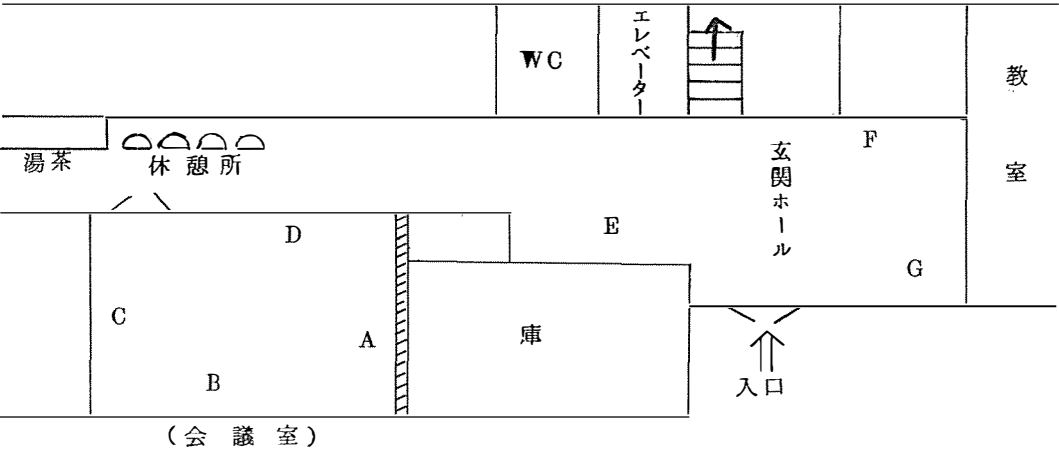
スウェーデンで生れた看護の省力化を一步進める新しい医療・看護補助具

帝国臓器製薬株式会社医療具課

会場担当者 本 多 大 祐

展示会場案内図

(教育学部 4 号館 一階)



医歯薬出版 の 看護学図書



看護学教育全書 全3巻 長尾十三二(立教大学教授) 編 山田里津(三井記念病院高等看護学院長)

●看護教育に携わる看護婦、看護教育研究者のために、「看護学教育」と呼びうるものがあってほしいという多くの願いと、看護学教育の適切な指導書がなかったという実情に应运え、本書は企画され「看護学教育全書」と名づけられた。

●従来の看護教育は一方で科学主義に走り、他方で昔ながらのかん、経験に頼る傾向にあったが、本書はいわゆるかんや経験の領域を実践のなかで科学的に裏付けし、体系化、理論化をはかって、より今日的にまとめたものである。また、疾患のみに重点をおいた看護に反省を求め、疾患をトータルな個人の中でとらえた、いわば人間看護の原点に立っての記述も本書の特徴の一つである。

●具体的には1)看護諸科学の内容の精選、配列の問題、2)精選された内容の有効な教授法の問題、3)看護諸科学の学問としての発達に寄与するための具体策の問題—にこたえることが看護学教育の課題であり、本書の目的である。

第1巻／看護と看護学

B5判 274頁 2,500円 千240

(主な目次) 看護学概論：健康の概念、看護の概念、看護の対象、職業としての看護、看護学史／看護技術：基本的技術、診療上の技術、面接技術／看護管理業務：看護管理技術—病院の臨床指導において／看護業務の医事法学

第2巻／看護学教育

B5判 286頁 2,500円 千240

(主な目次) 看護学教育の課題：現代社会における看護、現代社会における教育、看護学教育の課題—職業教育、看護婦教育と看護学教育／教育制度：教育制度の原理、看護制度／教育課程：教育課程の原理、3年制の看護学校における教科課程／教育方法：教育方法の原理、学習指導と生活指導、評価の理論／教師：教師の資質、看護指導者の資質／学校管理：学校管理の原理、看護学校管理／看護学の研究と教育：看護教育と看護研究、看護研究の方法

第3巻／看護学教育の実際

B5判 268頁
2,800円 千240

(主な目次) 保健／疫学／看護の領域／成人看護学における学習指導計画の展開／小児看護学における学習指導計画／母性看護学における学習指導計画の展開／老人看護学における学習指導計画の展開／精神看護学における学習指導計画の展開／特定分野の看護学における学習指導計画の展開—人工透析、放射線、ICU、CCU、ME／リハビリテーション看護／視聴覚教育の教材

■看護関連図書目録をご希望の際は、当社宣伝宛お申し付け下されば進呈申し上げます。

医歯薬出版 株式会社

本社 113 東京都文京区本郷1-7-10 ☎03(944)3131(大代) 直接館送ご希望の場合は現金書留が振替東京 8-44012で、送料加算の旨にて当社図書部
関西出張所 大阪市北区西天満4-11-23 海都ビル ☎06(364)8541 販売代理店の検索用メール・サービスへく 170 東京都豊島区旗本4-23-5 ☎03(349)4617

＊看護の科学社看護専門図書ご案内

臨床に 学習に 地域に あなたの看護実践を確かなものにする必備の技術書1・2集！

生活行動援助の技術

一看護実践の基本となるもの— 川島みどり著

〈第1集〉 A 5判 128頁 挿図14
定価 1,200円 送料 160円

〈第2集〉 A 5判 125頁 挿図13
定価 1,200円 送料 160円

「看護実践の科学」に連載中、看護界に衝撃と感動をよんだ手記！問いつめた看護とは！

看護本来の姿とは一妻の死に考える

富沢 賢著 四六判 248頁 定価 1,200円 送料 160円

看護婦であった妻が癌に倒れて問いつづけた看護本来の姿とは…死の後その遺志をうけて
追求した夫の看護・医療・病院・安楽死などへの追求！看護総論学習の最適の書と好評。

東京看護学セミナーが一貫して収集・研鑽をつづけてきた事例検討の現時点での集大成！

事例を通して考える看護

桑野タイ子著 A 5判 280頁 定価 2,000円 送料 200円

■常の看護実践を技術化するという目的で積重ねられてきた豊富な本書の諸事例検討は、
ここから安全性と安楽性の観点も生まれた看護諸分野の実践家に貴重な指針となるもの！

看護の学習こそ学生が主体的に学びとっていくものと考えぬいた教師のめざましい成果！

気づきと学びの看護—ある看護教育実践記録

久保智代恵・小野寺綾子著 A 5判 190頁 定価 1,500円 送料 160円

（目次の一部）Ⅰ．臨床看護婦が看護教育実践にとりくむにあたって Ⅲ．ともに考える
授業展開 Ⅳ．患者から学ぶ看護 Ⅴ．卒業報告 Ⅵ．卒後報告ほかユニークな教育記録

今日からの看護学習・看護実践に役立ち 明日からの確かな基礎をきずく大好評必携書！

疾患別看護計画のための基礎ノート

〔付〕治療処置・看護の基礎知識

安田千代子著 B 5判 350頁 全表形式 挿入図121
定価 3,500円 送料 200円

収録項目（胃腸、心、脳神経、肝、腎など）全表形式に工夫された読みとりやすさと、著
者長年のキャリアから誕生した絵で見る業務基準は各施設で即役立つと大歓迎されている

よい看護実践とは何か 患者・家族そして社会の接点に結ばれる看護像を追求する雑誌！

月刊看護専門誌『看護実践の科学』 A 5判 74頁
定価350円 送料30円

創刊3年を迎えた本誌は、ユニークな編集とハンディなスタイルで、いま全読者に絶大
な支持を戴いています。（年間購読料 4,200円送料サービス）いますぐ書店へご注文下さい

看護の科学社

東京都豊島区北大塚 2-2-13-201 ☎170

☎(03) 917-7901 振替東京 0-43439

定評ある (S) マークの基礎医学教材

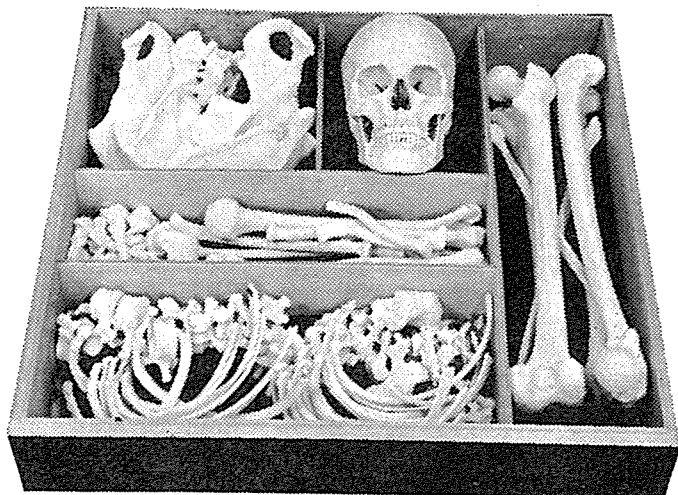
◎人体解剖模型(一〇〇分解)移動式車付台

取りはずし組立しやすい軟質合成樹脂製(新名称・解説書付)



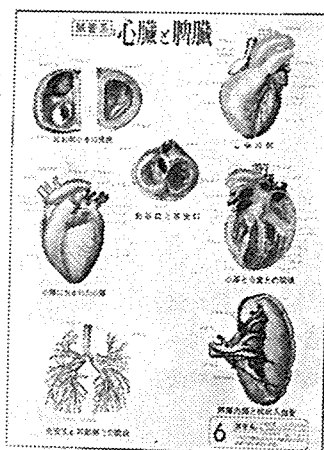
◎実物骨格分離標本

成人型、歯並び一級
上質木製ケース入り



◎カラー改訂版 人体生理解剖掛図 26枚綴

破れない新合成紙使用

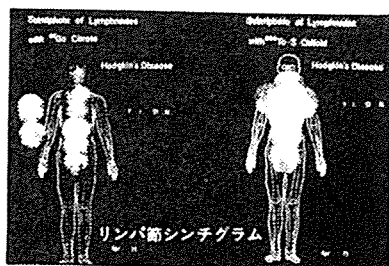


長さ 110cm×巾80cm

—営業品目抜萃—

実物頭骨標本 3 分解
神経・血液循環模型
生理解剖局部模型
生理解剖実物標本
糖尿病食品交換模型
各種患者治療食模型
性病・皮膚病模型
失禁患者用ゴム製便器
尖足予防器
看護実習モデル人形
産婦人科模型
乳房マッサージ練習模型
人工呼吸術練習人形
静脈注入訓練模型

—【総合カタログ進呈】—



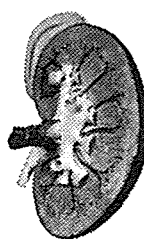
◎スライド放射線医学

耳鼻咽喉科学・消化器外科
泌尿器科学・整形外科
眼科学・産婦人科学
歯科学・病原微生物学
人体組織学・新看護技術
リハビリテーションと理学療法

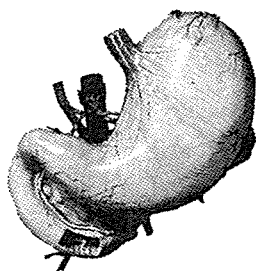
スライド
医学教育



心臓解剖模型



腎臓模型



胃解剖模型



株式
会社

坂本モデル

京都市左京区下鴨東高木町 34
TEL (075) 701-1135(代) 〒606

日母会員ビデオシステム



⑩ 新生児の取り扱い方

◎娩出直後の取り扱い ◎新生児室内における看護一出生24時間以内とそれ以後の観察・保育 ◎原始反射 ◎授乳・沐浴・おむつ交換の実際と産婦指導のポイント ◎異常所見 ◎退院時の指導

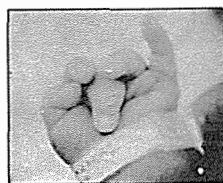
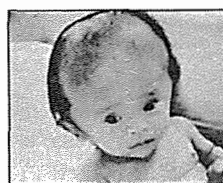
(25分)



⑪ 分娩介助

直腸診・剃毛・消毒・導尿から胎児娩出を経て、胎盤測定、清拭に至る介助の全てを実写により解説。会陰保護等の手技がよく分り、分娩機転、胎盤剝離等がアニメで説明されているので理解しやすいと産科看護学院・病院で好評。

(25分)



⑫ 新生児異常の見方

呼吸器系・循環器系・消化器系・神経系・その他(外傷・黄疸・表在性奇形・先天代謝異常・染色体異常)について、異常症例の実写を多く集め、異常の早期発見の手がかりを与える。新生児看護に欠かせぬ話題の力作

(26分)

監修

森山 豊

企画制作協力

日母幹事会 その他

第I期

12巻

カラー

20~30分

■昭和52年8月に完成。母子保健ビデオ教材の最新版です。

産科要員シリーズ

指 導

10新生児の取り扱い方

(大屋 敦・薄井 修)

11分娩介助

(助川幡夫・角田利一)

12新生児異常の見方

(水口弘司・中嶋唯夫)

■全国の613の大学病院・看護学校・病医院で使われ、好評です。(S.53.4.1.現在)

■妊産婦シリーズは、看護婦教育の教材としても好適であるとの評価をうけています。

妊産婦シリーズ

指 導

1 安産教室

(松山栄吉・大村 清)

2 妊娠中の生活

(北井徳蔵・諸橋 侃)

3 出産

(薄井 修・角田利一)

4 妊娠初期のころえ

(中嶋唯夫・松山栄吉)

5 妊娠後期のころえ

(真田幸一・皆川 進)

6 産後の生活ところえ

(前原大作・南雲秀晃)

7 妊娠中におこりやすい病気

(本多 洋・前原大作)

8 新生児の育て方

(山口光哉・久慈直志)

9 受胎調節

(大村 清・松山栄吉)

■お手持のビデオプレーヤー(VTR)の機種に合せたカセットをお送りします。

ビデオカセット ●各巻 27,500円

●12巻セット

一括払い 275,000円

分割払い

月額25,000円×12回

16ミリ映画 ●各巻 100,000円

お申込は

毎日EVRシステム

〒103 東京都中央区日本橋3-7-20ディックビル TEL(03)-274-1751

〒530 大阪市北区堂島1-6-16毎日大阪会館 TEL(06)-345-6606

第 4 回 四 大 学 看 護 学 研 究 会

講 演 要 旨

腎疾患の食事療法

千葉大学教育学部 村越 康一

腎疾患の治療の原則は、腎の庇護、代謝異常の是正、循環動態の改善、感染の予防及びその治療であって、具体的には、安静保温、清潔、食事療法、薬物療法で近年は腎不全に対して人工腎臓透析療法、腎移植等に発展した。食事は生命の維持に欠くべからざる要素であり、食事療法はその直接の効果の他に、日に三度の食事の際に、自己の病態を認識し直し、生活面での摂生が行われる事も併せ考えられ、その影響も見のがし得ない。然しながら腎疾患患者の食事は不美味の故に敬遠されている事は隠すべくもない。計算された熱量、栄養素量も完全喫食を前提としている故に、患者の積極的な摂食、家庭における協力、食事指導の適切性等の関与が頗る大きい。

そこで腎病態から見直した食事療法の原点を定め、献立、調理における問題点を少しでも解決し、患者に喜ばれる食事療法の如何にあるべきかについて、千葉大学医学部第一内科クリニックとその関連病院の在院患者並びに、退院した患者を対象として、昭和48年4月より4年間に亘って以下の項目につき検討を加えた。

- I 腎臓食構成の原則
- II 献立作成および調理上の問題点
- III 各種病態における検討
- IV 喫食率の調査
- V 入院腎臓病患者の給食の実態調査
- VI 入院透析患者食の検討
- VII 在宅透析患者食の検討
- VIII 食事療法と看護

ネフローゼ症候群の患者を除き、一般に病腎に余分な負担をかけない様に蛋白質の摂取量は抑制されるが、これは同時に高カロリーを摂り、十分なビタミン類の補給が原則である。実態は体重1Kg当たり37calで熱量は充分であるがビタミンB₁、Cの不足があげられ、又腎臓病特殊食品である。マクトン、粉アメについての調理の工夫が要請される。食塩量は可なりよく守られるが多く摂る傾向がみられた。腎疾患食事療法の成功の鍵は、患者教育の徹底であって、即ち患者の理解と患者の全周囲の協力を得ることであって、ここに食事指導の看護展開の意義が見出される。

研究協力者

土屋尚義博士、斎藤潤子、大谷真千子、坂巻妙子の諸氏に厚く感謝する。

特別講演要旨

看護学の性格

高知女子大学 芝 田 不二男

1) 多義な看護の概念

- a) 看護という概念（看護とは何かの定義）についての多様さ。
- b) その定義を構成する基本的概念の不明確さ。Terminology の未成熟。
- c) こうした事情の理由、背景を考えてみたい。

2) 看護哲学からのアプローチ

特に看護学は、何を、どのような角度から、どのようにして、情報を明確にし、整理しようとするのか。

3) 看護学の対象（何を）

看護という事実（活動，行動，操作）は自然的，文化的，歴史的，社会的事実。人間（看護者）の人間（患者）に対する働きかけであり，「看護者－患者」の看護状況である。

- a) 一面からは人間関係として，社会科学的究明の必要。
 - b) 看護の対象である人間の究明として，自然科学的究明も必要。
 - c) もう一つ，例えば健康という中心概念をとりあげてもわかるように，この概念の定義は，操作的定義でなければならない。また将来の実体的客観的事実の究明を認めるとしても，それは少くとも機能的定義でなければならないであろう。
 - d) 対象をとらえる枠組の混乱が，看護概念の多義性を生んでいる一つの理由。
- ### 4) 社会科学的と自然科学的究明のつながりを看護学はどう組みあわせるのか。
- a) 基礎看護学 対象とそれをとらえる枠組によって，方法は分化。
 - b) 実践科学ないしは技術科学としての看護学ではどうであろうか。
 - 「もの」である人間
 - 「もの」につかない人間
 - 「生きるため」「よりよく生きようとする」人間
 - c) 実践科学，技術科学のもつ問題
 - d) この辺の事態の未整理が，看護概念の混乱のまた一因ではないか。

5) 今後の課題

- a) 看護の基本的概念の哲学的究明の徹底。
 - 生命とは。健康，ニード，死……。
- b) 看護の基本的概念の洗い直し。
 - 特に社会科学的用語の再検討。
 - 例えば，ニード，コミュニケーション，などの側面でもつ，日本とアメリカの文化的特性のズレなどをどうするのか。

主 題 大学における看護学教育の検討
地 域 看 護 に つ い て

1) 地域看護—看護教育とのかかわりにおいて—

徳島大学教育学部 池 川 清 子

地域看護という言葉が導入されて、数年が経過しているが、その概念規定は、いまだに曖昧である。そこでいま、地域看護というものを、「地域社会に生活している人びとを対象として行う看護活動である」と仮に規定しておこう。このように大枠に捉えたとしても、これまで公衆衛生看護といって、公衆衛生を住民に浸透させるための活動として称されてきたことに比べて、地域の人びとの必要に応える看護活動そのものであるという点で、看護の体系化への一歩前進であろうかと受けとめている。したがって、地域看護は、今日の看護の概念からして、決して新しい領域とは言えないし、まして看護の専門領域などでもない。看護婦や保健婦による看護活動の、実践基盤の一つの転換に過ぎないと考えるからである。問題は看護教育にある。地域看護の概念を看護教育に十分に機能させるためには、看護婦教育と保健婦教育の一貫性が不可欠である。現行教員養成課程において、学生の地域での学習を可能とするのは、かろうじて成人看護学に位置づけられた保健所実習のみである。私の経験した限りでは、保健所実習は公衆衛生活動の臨地見学の域を出ておらず、地域看護を学ばせるという教育側のアプローチが十分であるとは考えがたい現状である。こういった観点から、大学における看護教育の体系は、地域看護の概念を基盤として再編成される必要があると考える。学生は地域での学習を通して、看護の対象となる人びとが、どこから来て、どこへ帰るのかを知る。継続看護の意味は、しばしば施設退院後の事後指導や管理の面で強調され勝ちであるが、重要なのは、人々の健康にかかわる生活の場としての地域看護からの継続の意味である。この学習の連続において、学生はなぜ患者がそのような行動をとるのか、なぜかれらが病気になるのか、かれらの健康回復にどのような因子が影響するかを、理解するのである。

以上のような見地に立って、今回は、本学における保健所実習の現状分析から、地域看護実習のありかた、特に地域看護の実践を通して、学生が何を学ぶべきかを検討したいと考えている。

参考文献： ①W. H. O 専門家委員会報告書、松野かほる訳「地域看護」日本公衆衛生協会 1977

②The Third International Seminar, Effective Primary Care in
Community Health Service, Life planning Center, Tokyo 1977.

2) 大学における地域看護教育

訪問看護の問題点と展望

千葉大学教育学部看護課程 宮崎 和子

はじめに

「地域看護」という概念には、「公衆衛生看護」「訪問看護」「在宅看護」「継続看護」さらに、「Primary Health Care」というように、さまざまな立場からの発言が含まれており、それぞれの捉え方、用い方にも相違があるようである。

第2次世界大戦後、地域における看護は結核予防対策を中心に、国民保健向上の施策としてすすめられた。保健所保健婦の仕事は、衛生思想の普及および疾病の予防、健康増進に資する活動であり、すでに病気になってしまった病人の直接ケアは保健所本来の業務ではなかった。保健婦規則にも、疾病予防の指導、母性または乳幼児の保健衛生指導、傷病者の療養補導、その他日常生活上必要な保健衛生指導をするものとなっており、療養上の世話をなすという役割は期待されていないことが明らかである。

今日、人口老化に伴ない、施設内に老人患者が多くなり、多くの病院で老人病棟化の現象がある。急性期を過ぎ固定期に入った患者、後遺症のため手のかかる患者は退院を勧告される。また、看護力の不足から、徐々に病気の進行する慢性難病患者も在宅療養を余儀なくされている。地域に帰した老人患者、難病患者、身心障害者などの看護の担い手は誰なのか、これらの患者は年々増加しており、核家族化の定着（全国平均一世帯当り人口3.28人S53.7）により、家族の背負いきれない医療看護上の諸問題が多い。さらに環境汚染その他の公害問題等、地域保健に関する社会からの要求もますます増しており、地域保健ならびに地域看護の問題は山積している。

地域看護の教育課程編成にあたって

J. S. Brunerは、教材の根底にある構造に忠実な教育課程を編成するために、どの特定の学科の場合にも、その分野で高度の洞察力と能力をもった人で、その分野の基本性質を正しく評価し理解できる立場にある専門学者によってもっともよい決定ができると述べているが、前述したように地域看護には様々な立場（分野）があり、それぞれに深い専門的知識とその分野での高度な洞察力を高めたものが大学教育における教育課程の編成や教材の精撰にあたるべきであることは言をまたない。その意味では地域看護のそれぞれの分野での教材の深い追究により、その根底にある構造を見抜く作業が大学における教育者に課せられた問題であろう。

前述したような様々な要因から、地域看護に関する社会のニーズは多様で、量的にも質的にも変化している。一方、医療の進歩と共に施設内看護技術も高められている。これらの実態より、従来の地域看護専門家のみならず、施設内看護（病院内看護婦）からの援助を必要とすることも多く、施設内外から協同する形で新しい地域看護の方法論がうち立てられなければならないであろう。私は成人看護の立場から施設内よりの継続看護・訪問看護に関する実状と問題点をさぐり、地域看護教育の中でどう位置づけるかを考察する。

3) 成人看護における患者のニーズを中心として

熊本大学教育学部 ●城 慶 子
河 瀬 比佐子

近年地域看護という言葉がいろいろな所で使われている。日本看護学会においても1974年より地域看護分科会が発足した。しかし地域看護に対する理解については、必ずしも看護界において共通の基盤にたっているとはいえないのが現状である。それは日本の医療全体においても言えることであるが、総合的で一貫性のある地域保健、あるいは地域医療を推し進めてゆくために看護はその主要な役割を分担し、機能を発揮しなければならない。しかし日本の現状においては看護婦、助産婦、保健婦等職種の違いや所属する機関の目的及び活動の分野の違い、あるいは日本の医療のシステム上の問題等の影響をうけ、基本となる考え方は勿論のこと、その活動にも一貫性を欠き、無駄な重複やすき間を生じているのが現状である。

地域看護の最も基本的なことは、その地域の特性を背景として生活し、影響し合っている地域住民を対象とすることである。看護の対象である住民は個人としても、家族、地域集団の一員としても健康上の基本的ニーズを持っていることは言うまでもない。それぞれのニーズに対して必要な看護が適切な場所で、適切な人によって、適切な時に得られ、それが継続されるような活動が地域看護であると考えられる。地域ぐるみの看護を考えることが住民のニーズに最もよく答え得るものであるとすれば、問題はその基本的な考え方、あるいは対象のとらえ方であり、看護の機能がよりよく発揮されるようなシステムである。即ち病院に入院している患者個人も、家族も、地域で生活している人達も、相互に影響し合いながらどのようなニーズを持ち、またそれに対して如何なる援助ができるかを知らなければならない。またその援助は対象のニーズの個別性によって誰が分担するのが最も適切であるかを判断し看護のルートにのせてゆくことである。

今■の地域看護というテーマを、大学におけるカリキュラムの検討の中で、成人看護における患者のニーズを中心として、臨床看護の立場から考えてみることにした。

成人看護実習において過去5年間に学生の受持ったケースの中から看護上の問題点、患者のニーズ、社会的背景と問題点との関連などについて分析し、考察を加え対象の実態そのものが求める看護は、当然家族とか地域の中で考えてゆくべきであることを明らかにしてゆくことにした。それはまた基本的考え方や判断に基づく看護についての学生の能力を養い、地域における看護のあり方を把握出来るような方向づけのための基本的資料として検討した。

4) 地域看護実習の実情と今後の方向

弘前大学教育学部 津 島 律

目的：当課程で学生に実施した地域看護実習を年次別に検討し、今後の方向を考察した。

方法：保健所の実習において実施した実習計画及び実習記録・指導内容を年次別に比較検討した。

成績：昭和45年度は健康な対象を知る目的で、3年次の学生に実習をさせたが、健康障害者に対して援助できる知識や技術が充分でないために、自主的な展開ができなかった。健康者に対する健康保持増進の援助と保健活動の理解については目的を果し得たと考えられる。46年度から51年度までは4年次の学生に、住民の生活に直接に触れる実習方法をとった。学生に単独で家庭訪問を行わせ、それらの事例について事例研究会を開催したが、既に病院実習で生活の援助及び指導方法を経験していたので、在宅患者にこれを適用することができ効果があった。更に52年度は、4年次学生に保健所及び地域婦人部と協力して、家庭訪問の際に健康調査を実施させたが、地域住民の健康上の諸問題を把握するのに役立った。また援助を必要とした事例についてはそれを記録させ、保健婦に引継ぎ活動を継続させた。このような地域住民に対する一連の看護活動を実際に体験したことは意義のあるものであった。

結論：3年次学生に地域看護実習を行っても看護の知識・技術が共に不十分で、単なる見学となる傾向があり、自主的な実習ができない傾向があった。これに対して4年次の学生では地域住民の生活に触れることができ、地域住民に対する看護の重要性を深く理解することができた。健康のあらゆるレベルに適応できる看護、即ち総合看護を理解するために地域看護実習は大きな意義があると考えられる。

実習においては地域住民の生活に密着した実習方法が望まれるが、今後は保健所を中心として、一定のfieldをもち、健康調査から把握された問題点に基づいて、家庭訪問や健康相談、集団指導等を実習にとり入れ住民に対する継続的な地域看護実習を実施していくべきであるとする。

一般演題

1) 高等学校衛生看護科における諸問題

—— 准看資格の取得にからむ諸問題 ——

浜松市立高等学校 ○佐藤 祐子

静岡県立清水西高等学校 杉山 倫子

衛生看護科（衛看）の教員になってまだ経験も浅く、科学的根拠のある確固たるものではないが、発足以来多くの難問をかかえたまま今日に至っている衛看の問題点の中で、特に准看資格の取得にからむ問題について考えてみたいと思う。

現在の文部省指導要領の教科目標には3項目あげられているが、教育実態との歯車が合わず、看護の質向上を目指すために必要な生徒の応用性・創造性などの能力及びその態度を養成することに多くの困難を感じている。

衛看では39単位をもって准看資格の取得に伴う科目があげられているが、資格取得のためにそれら科目は専門化・多様化されており、それが看護を学ぶものとしての能力や態度の養成に歯止めをかけている因子の一つになっているのではないかとと思われる。

高校入学時点から専門科目に触れ、学び方を知る間もなく目新しい知識に振りまわされているのが実状であり、また資格試験に最低限必要な知識を伝達せねばならない教師にしても、根本原理から解く余裕がもてず、往々にして生徒の行なうべき“思考”を省き、結果・結論を急いでしまっている。しかも科目数が多いことにより年間の授業時間が細分され、外来講師を含む多くの教師に断片的に接することにより、生徒の学習方法に統一性が欠け、学習に対して十分取り組む姿勢が育ちにくい傾向にあるといえよう。

思うに、現状においては准看資格を得たとしても、高校時代に学習の方法やそれに対する姿勢を知らずに進学しているといっても過言ではなく、進学後同様の専門科目を再度学ぶ生徒の気持ちに学習意欲の低下をきたすおそれがある。

看護の質向上の声が高まり、進学者も増えている今日において、わたしたちは資格取得に対する考え方を含め、根本から衛看のあり方を考えるべき時期にあると思う。

2) 大分・東明高等学校における衛生看護科の問題点

大分・東明高等学校 麻生 佳澄

近年、看護婦の質の向上が叫ばれ、准看護婦廃止にまつわる論議が活発になっている中で、衛生看護科の存在が大きくとりあげられてきた。本校も昭和41年に衛生看護科が設置されて以来、多くの問題をかかえ、試行錯誤をくり返しながら今日に至っている。

産業教育における他の分野にくらべ、教育制度のたちおくれや、日本の医療および看護の事情などの複雑な影響を受けて、その根は深い。

現状におけるカリキュラムを運営してゆく上でどのような問題があるかを整理してみると、大きく3つに分けることができる。

まず第一に、専門教科を習得する上での問題があげられる。専門教科において、高校生という発達段階において到達し得るレベルを考え、各専門教科の内容の精選をして、生徒に教授してゆかねばならない事はいうまでもない。しかし実践の場におけるニードや看護業務の役割分担などの実情も含んで、目的目標に関する考察やそれにそった内容精選が十分にできていないのが現状である。その中で生徒達の知識の習得状況をみてみると、一年次の基礎看護、看護基礎医学が確実に習得されておらず、二年次からの他の専門教科との関連ができていない状態であり、最終的には、このことが患者の観察看護をしていく上で一番の問題となっている。特に看護基礎医学はほとんど外来講師によって教授されており、なかでも解剖生理学、薬理学、病原微生物学は、生徒自身も学習困難な教科としてあげており、諸テストの得点も他教科にくらべて低い。

第二には、病院実習における問題である。実習病院、実習期間、実習配置、実習内容、病院側スタッフの生徒に望む看護のレベル、学校側と病院側との話し合い等、多くの問題があげられる。

第三には、高看護進学希望者の増加に伴った進学指導上の問題があげられる。

今回は、多くの問題の中でも専門教科習得上の問題点の中から生徒が学習困難としてあげた看護基礎医学（特に解剖生理、薬理、病原微生物）の習得に関してとりあげてみた。現状において、学習意欲をもたせ、より確実にこれらの教科内容を習得させる事や、病院実習、准看検定試験、進学への影響を期待し、看護基礎医学の各教科に対する補習を本校では夏期休暇中に実施している。そこで補習がどのような効果をあげ、反面どのような問題に直面したかを示し、現2年生で1年次に補習を受けた生徒達の成績の変化、学習意欲の変化などについて報告する。

3) 高等学校衛生看護科における教育の現状と問題点

弘前大学教育学部 ○大和田 恵 子
津 田 律

目的：全国高等学校衛生看護科における教育内容の現状について検討した。

方法：昭和52年10月22日から11月30日の期間に質問紙を全国高等学校衛生看護科（単独校、定時制を含む）133校に郵送しその内容を分析した。回収できた学校は83校で、回収率は62%であった。分析は以下の項目について行なった。

1. 教職員の構成
2. 教育目標
3. 組織・機構
4. 学科目担当の決定方法
5. 学科目の実施単位数
6. 教科以外の教育活動の担当
7. 教育内容の問題点等

結論：以上の成績によりおもな問題点をあげると、教育内容については内容が膨大であり、高校生に対する教育内容としてのレベルや範囲が不明瞭である。標準単位数の開きが大きすぎるが、衛生看護科においても実施単位数の学校差が大きい。また病院実習における指導上の問題点等が指摘されて

おり、今後このような現状の問題点に対する改善のための検討が重要であると考えられる。

4) 衛生看護科の看護実習からみるカリキュラムの問題点

江口千恵

衛生看護科の生徒に対して“むずかしい教科”を問うと、ほとんどの生徒が、解剖生理などの看護基礎医学にあると答える。これは卒業生に対するアンケートにおいてはもっと著しい。しかし“むずかしい教科”としては上げられない看護実習における生徒の到達状態に大きな疑問を感じる。

看護基礎医学4～8単位、看護実習20～27単位の現行の教育課程での比率の中で、はたして生徒は3年間に何を学び、どれだけのものを自分のものとして卒業していくのであろうか。

看護技術は、経験の積み重ねから完成するものではなく、あくまでも学んだ理論から完成するものである。時間をかけ生徒が看護婦らしい動きをしたとしても、それは決して彼女たちのもつ学問としての技術にはなりえない。看護する対象を把握すべき看護基礎医学が“むずかしい教科”でありながらも、生徒は、それをとび越えてしまい、流れとしての技術をつかみ、動けるようになったことで満足してしまっていることに大きな不安を感じる。

高校生としての衛生看護科の生徒に必要なものは決して看護婦として動けることではなく、看護者として必要な基礎的学問をフィードバックさせながら考えながら動ける段階ではないだろうか。

看護学は、決して浅い学問ではない。卒業し、進学しても就職しても、そこからまた新たな学問がくり返し行なわれる。そのためにも、高校生としての彼女たちに、もっと余裕のある基礎を充実させるためのカリキュラムを考えねばならないのではないだろうか。

5) 衛生看護科における問題点

成人看護の指導の一工夫

鹿児島大学医学部付属病院 東 サトエ

その疾患に生じてくる症状を現象のレベルでとらえ、それに必要な看護を症状とはほぼ無関係に丸暗記的に覚えてゆく従来のとらえ方では、知識がバラバラに記憶されており、必要な観察の要点が抜けたり、的をえない観察を行うことになりがちであった。またその症状がいったいどこから何故生じているのか理解していないために、その疾患の本質がわからず、真にどのような看護が望ましいのかを導き出せず、計画性はあっても対症看護に終わりがちであった。

このような指導法のもとでは生徒の興味もわからず、理解を深めさせることがむずかしかった。また、病院実習で今まで学習してきたことを結びつけて看護を展開してゆく能力や、学習していない疾患を自己学習してゆく力を養うことができなかった。

そこで、患者を目前にした時にその疾患の全体像を再構成し、要点を得た観察を行ない患者に必要な看護を導き出せるようなとらえ方をし、病院実習でスムーズに展開してゆけるような指導法の必要性を感じ次のような学習を行ない指導していった。

- ① 大づかみに疾患の本質をとらえる。
- ② 本質に照らし合わせてみて、何故そのような症状が生じてくるのかをとらえる。
- ③ 乱された生活の機能を整えるためにはどのような看護が必要か要点を見い出す。
- ④ ③をみたす具体的な看護法を見い出す。
- ⑤ 以上をもとに観察の要点を見い出す。
- ⑥ 指導案の作成。
- ⑦ 教授終了後11項目にわたり必要な観察の要点を書かせる。
- ⑧ 病院実習において患者を受け持ち、その疾患に必要な観察の要点を中心に情報を整理し、計画を立て展開してゆく。

今回は「細菌性肺炎」を例にとり説明する。

このような思考過程をとることは、高校生のレベルではむずかしい面もあったが、生徒の興味も湧き、少しずつではあるが自己学習も可能となった。一方、衛看→専攻科というルートを通る生徒が、衛看で学んだ土台の上に立ち、スムーズに向上してゆけるにはどのようにしたら良いかは大きな課題であるが、以上の様な疾患のとらえ方をしておくことで、生徒の発達段階や能力に応じて指導方法を工夫することにより、適切な指導が可能となるだろう。

6) 含嗽水及び含嗽回数からみたマウスケアの検討

弘前大学付属病院 山 崎 昭 子

目的：口腔は常に細菌によって汚染されており、常に感染の危険に曝されている。看護の場では、この感染予防は重大な課題であり、多くの具体的方法が看護計画に組み入れられている。含嗽もその一つの方法であるが、本法の口腔内細菌の滅菌、消毒効果に関するこれまでの報告は、いずれもが健康人を対象としたものばかりである。そこで、患者を対象とした含嗽の口腔内細菌に対する効果を明らかにする目的で実験を行った。

方法：循環器、呼吸器系疾患で長期入院中の60才～75才までの患者5名を対象に、まず水道水と2%ホウ酸水の含嗽後の排水の生菌数の差をみる目的で、それぞれの含嗽後排出された含嗽水の生菌数を測定した。

含嗽前後の生菌数

次いで、含嗽回数による生菌数の差を知る目的で、含嗽を3回および5回施行させた後に、排出された含嗽水中の生菌数を測定した。

さらに、消化器、循環器系疾患で入院中の18才～59才までの患者18名を対象に、含嗽水別の含嗽後の爽快感を知る目的で、水道水、2%ホウ酸水、生理的食塩水、2%重曹水、微温湯および2%レモン水の6種の含嗽水で含嗽させ、質問紙を用いて調査した。

成績：含嗽前 $10^7 \sim 10^8 / \text{mL}$ 程度存在した生菌数は、水道水および2%ホウ酸水で、含嗽後は各々 $10^6 \sim 10^7 / \text{mL}$ 程度に滅菌したが、両者に有意差はなく、中には含嗽後に生菌数が増加した例もみられた。

また、含嗽を3回施行後でも5回施行後でも細菌数は $10^6 \sim 10^7 / \text{mL}$ 程度存在し、3回施行後の平均は $112.5 \times 10^5 / \text{mL}$ 、5回施行後それは $76.4 \times 10^5 / \text{mL}$ で、含嗽回数の差によって滅菌、消

8) MDTからみた性周期の心身に及ぼす影響について

千葉大学教育学部 ○茅 島 江 子
秋 山 昭 代

婦人の性周期が心身に及ぼす影響については、婦人科学のみならず心理、教育、犯罪、産業の分野において以前より報告のあるところである。すなわち、婦人の性周期の各時期における心身の愁訴ならびに作業能率は、きわめて関係の深いものといわれている。

今回私らは、月経前及び月経時の心身の訴えと婦人のストレスに対する適応能との関係をみることを目的とし調査を行ない若干の知見を得たので報告する。対象は千葉大学教育学部女子学生52例とし、全員に基礎体温を測定させ性周期の各時期を確認し、それぞれ卵胞期・黄体期および月経期にストレスに対する適応能の判定として鏡影描写法Mirror Drawing Test（以下MDTと略す）を実施した。月経前及び月経時の心身の愁訴は、RUDOLF H. MOOSの提唱したMenstrual Distress Questionnaire（以下MDQと略す）を用いた。あわせてCMIを調査し参考とした。

その結果、MDTにおいて一周描写時間、誤描写時間、誤描写回数を測定すると、月経時愁訴の多少とこれらとは相関はみられないが、月経前愁訴の多い者ほどそれぞれ高い値を示した。同じくCMIとの関係をみると、深町分類領域Ⅰ～Ⅳと月経前および月経時の愁訴との関係では月経前愁訴の多い者に神経症的傾向が多くみられ、月経前の訴えは基質的なもののみでなく、多分に精神的な要素のあることが推察される。

9) デジタル、アナログ情報とシステムズ理論を使った Psychotherapy 解析への一試み

近畿大学医学部 早 川 和 生

今日よく発達したコンピュータは、2種類の情報インプットを使って機能している。デジタルとアナログである。そして我々人間も同様に2つの情報伝達手段を用いている。

1つはverbal languageであり、もう1つはnon-verbal language(voice tone含む)である。これら人間の2種類の情報伝達手段のうち、前者は典型的なデジタル、後者はアナログである。つまり我々は外界との情報交換に於てコンピュータと同種の方法を用いていることになる。今後、各種の臨床専門家がより効果的なpsychotherapyの発展を試みるには、その理論化、特にコミュニケーション理論からのsystematicなアプローチが不可欠であるので今回ある精神分裂症の患者を例にとり、そのtherapistとの関係をholisticに把えなおしてみた。

P=Patient. T=therapist. S=system. SS=subsystem

PとTは、1つのSを構成し、PとTはそれぞれ1個のSSである。精神面でopen-endedなSSである分裂病のPは不安感の強いSSである。TはPの発するアナログ・デジタル情報を可能な限り正確にキャッチしてTは高い理解力があることをPに示す。同時にPの不安感は、PT間の正確なコミュニケーション・プロセッシングによって減ぜられる。Tが最大のエネルギーを要するのは、Pが

ダブルバインド状態に陥ることを防ぐことであり、もしPが既にダブルバインドに陥っている場合には、TはP・T間のインフォメーションの流れを理解しやすい方法を使ってPに知らせねばならない。この場合、TはPにとって一種のモデリングの対象となる。Tは常にディジタル及びアナログ・コミュニケーションを一致したラインで情報を発して行かねばならない。

10) 入院によっておこる患者の不安について

弘前大学医学部付属病院 葛 西 裕 子

目的：入院してまもない患者の環境の変化によっておこる不安の特徴を知る目的で、検討を加えた。

方法：弘前大学医学部付属病院および弘前市立病院の入院患者で、安静度3以上の、高校生以上の内科入院患者、23名（男11名、女12名）を対象に、入院後2日めと7日めに面接をし、同時に2日めには、テラーの不安検査の質問紙を配布して、7日めにそれを回収した。

成績：テラー不安検査の対象とした患者の平均点は、男15.2点、女23.0点で、両者の間には、危険率10%で有意差が認められた。しかし、両者とも日本人の正常範囲内の値にあると言えた。そして不安指数の高い者は、入院日数が増しても、不安の程度は変わらなかったが、不安指数の低い者は、入院7日めには不安の程度が、より低くなる傾向がみられた。

面接により、入院のために生じた不安は、2日めでは57%、7日めでは39%の患者にみられた。特に男子では、7日めに不安は減少する傾向がみられ、危険率10%で、女性より有意であった。また、これを不安指数の高低でみると、不安指数の高い者では、不安は7日めには半分に減少していたが、低い日では $\frac{1}{4}$ に減少していた。仕事についての不安は、2日めでは86%、7日めでは79%の患者にみられた。そして、不安指数の高低による不安の変化はほとんどみられなかった。

結語：テラーの不安検査で、不安指数の高い者は、男性より女性で、入院によって不安感をいだく者が多く、しかも入院して1週間が経過しても、その不安が続いていることが明らかにされた。これらのことを考察して入院してまもない患者に対しては、心理的な援助を加えることが大切であると考えられた。

11) 糖尿病患者の糖尿病に対する理解度の調査研究

静岡県立磐田北高校 ○佐 野 京 子

千葉大学教育学部 村 越 康 一

糖尿病は、一度発病すると生涯にわたりコントロールを維持していかなければならない。そのコントロールを適切に行なうためには、糖尿病をよく理解し、その知識にもとづいて病気を治していくという自覚が大切になってくる。

そこで私は、千葉大学医学部付属病院第一内科糖尿病外来に通院している患者291名を対象に、

糖尿病に関して、食事療法に関してどの程度の知識をもっているかをアンケートによって調査した。そしてそれらが、どのような因子の影響を受けているかを調べ、今後の患者指導に生かすべく本研究をはじめた。

結果は、糖尿病に関する医学的知識は比較的良好に理解されていたが、食事療法に関する栄養学的知識はあまり理解されていなかった。特に三大栄養素が理解されておらず、また過去の間違った考えをまだ信じている者が多く、バランスのとれた食事という基本原則が理解されていないことがわかった。医学的・栄養学的知識に対する理解度は、老年層（60才以上）、義務教育卒業、女性、指示カロリーを理解していない者、食品交換表を利用していない者が低かった。

したがって今後の患者指導の方向としては、60才以上の女性で義務教育卒業の者に対する指導の工夫、食品交換表の利用の勧め、指示カロリーの理解であり、その内容としては、指示カロリーの範囲内でバランスのとれた食事、迷信、特におから、サラダ油などの誤解をとり除くなどである。

大学病院における患者指導は、医師・栄養士が実際に行なっているが、外来看護婦による指導が是非必要である。外来看護婦が、個々の患者の生活環境や教育程度を把握したうえ指導方針を医師と共に決定し、定期的に指導していくことが糖尿病専門外来のあるべき姿である。

研究協力を頂いた千葉大学医学部第一内科講師広瀬賢次博士に感謝いたします。

12) 地域における寝たきり老人看護について

筑波大学附属病院 ○長 岡 多恵子

市原市役所健康管理課 田 丸 志づえ

渡 辺 行 栄

山 口 佳津美

串 田 登志江

千葉大学教育学部 松 岡 淳 夫

現在は、人口の老化現象が進み、老人問題が重要な社会問題として取り上げられている。この中で老人と疾病の関係について考えると、老人の疾病は加齢による生理的機能の減退という一般状態の上に、多くの因子が複合して疾病を構成し、また慢性化傾向にある。これに加えて、その疾病構造に対応できる医療施設、福祉対策も充分とはいえず、多くの老人が、寝たきりという状態で家庭においてその介護をうけ、医療から放置されている現状にある。寝たきりという状態は、老人その家族にもたらす肉体的精神的負担は極めて大きいと考える。

そこで、この実態を千葉縣市原市においてその地域特性をとらえつつ、多角的な調査を行ない、寝たきり老人家庭の問題点を探ることによって、今後の老人保健活動のあり方を検討したので報告する。

ねたきりの原因の半数以上は、脳血管障害であった。市原市では、成人病検診が一般的に行なわれており、脳血管障害で寝たきりになった老人のほとんどが、寝たきりになる前に、検診や健康診断を受けていた。このことは、脳血管障害予防対策を推進してゆくことはもちろんだが、検診後の保健指導や日常生活指導が必要であると考ええる。また、入院設備の整った病院やリハビリテーション施設の増設が望まれる。

寝たきり老人の多くは、直接的な医療から放置され、身体的精神的状況は低かった。しかし、清潔状況は比較的良い結果だったことは、介護者の過重な看護量が明らかにできた。寝たきり老人の問題は、単に寝たきり老人本人だけではなく家族全体の問題としてとらえる必要があるが、今まで積極的に行なわれてきた特別養護老人ホームは、本人、介護者ともに希望が少なく、その他の福祉対策についてもあまり積極的な要望はみられなかった。しかし、この地域に必要とされるのは、在宅における有効なコミュニティケアであると考ええる。そのためには、寝たきり老人家庭の状況把握、意識向上が計られ、専門職である看護者の直接介護、介護指導等が行なわれるべきである。これらの事等について述べる。

総 会 議 事

議 長 村 越 会 長

議 題

- 1) 5 2 年度決算について
- 2) 5 3 年度予算について
- 3) 世話人の増員について
- 4) 会費値上げについて
- 5) 次回会長について
- 6) その他

報 告 事 項

- 1) 会名変更について
- 2) 会誌発行について

||||| 総 会 議 事 資 料 |||||||

1) 昭和52年度会計決算書

○ 四大学看護学研究会運営経費 (昭和53年3月31日)

(収入の部)

項 目	収 入 額	備 考
52年度会費	282,000	2,000円×141名
寄 付	150,000	会長より, 業者
繰 越 金	40,501	郵 元 金 20,000 切 手 貯 利 息 501 20,000
第3回研究会総会余剰金	50,000	熊本大より繰戻し
計	522,501	

(支出の部)

項 目	支 出 額	備 考
会 報 印 刷 費	100,800	会報 (No2) 18,000 (No3) 30,000 趣意書 13,200 プログラム 39,000
世 話 人 会 会 議 費	94,578	52年7月2日東京看護研修センター 53年2月5日東京虎ノ門共済会館
通 信 費	3,510	
人 件 費	47,000	アルバイト料 2,000円×1人 3,000円×15日分
事 務 費	2,090	
第3回研究会総会補助	50,000	当番熊本大学へ
雑 誌 発 行 事 業 へ	225,323	雑誌発刊(創刊号)
計	522,501	

○ 機関誌発行事業経費 (昭和52年3月31日)

(収入の部)

項 目	収 入 額	備 考
運 営 費 よ り	225,323	
広 告 掲 載 料	184,000	(11社創刊号)
別 刷 代 金	28,000	6 篇
計	437,323	

(支出の部)

項 目	支 出 額	備 考
創 刊 号 印 刷 費	365,000	730円×500部
別 刷 分 印 刷 費	30,000	50部×4 100部×2
郵 送 料	25,000	
計	420,000	

残 17,323 余剰金は53年度運営費に繰越し繰入れる。

2) 昭和53年度会計予算(案)

○ 四大学看護学研究会運営経費

(収入の部)

項 目	収 入 額	備 考
53年度会費	400,000	(53.630) 2,000円×200人
寄 付	0	
繰 越 金	17,323	52年度事業経費より
雑 収 入	0	
計	417,323	

(支出の部)

項 目	支 出 額	備 考
会 報 印 刷 費	60,000	会報2回
世 話 人 会 会 議 費	100,000	2回 千葉及東京
通 信 ・ 事 務 費	10,000	
人 件 費	60,000	3000円×20日
第4回研究会補助	50,000	当番千葉大学へ
雑誌出版事業費	137,323	
計	417,323	

○ 機関誌発行事業経費

(収入の部)

項 目	収 入 額	備 考
運営費より繰入れ	137,323	
広 告 料	552,000	11社より
別 刷 代 金	30,000	
雑誌バックナンバー販売代 金	10,000	
計	729,323	

729,323

(支出の部)

項 目	支 出 額	備 考
印 刷 費	840,000	プログラム1回 40,000 800円×500部×2回
別 刷 分 印 刷 費	30,000	
郵 送 料	50,000	

△160,677

|||||

５２年度会計は決算書の通、会誌創刊号の発行を行ないましたが、多額の寄付があり、若干の余剰金を５３年度に繰越することができました。

５３年度は前年度に比べ、収入は、会員増で、７月現在で見積って約１０万円の増収となります。しかし、雑誌の刊行費、郵送料などを見積ってまいりますと、約２０万円の不足が予算の段階で見込まれます。

５３年度は最大の努力をして、乗り切るとはいたしますが、この場合翌５４年度以降について会費の値上げを頂き健全な会計を計りたいと存じます。

値上げ案 5 4 年度以降年会費 2,000円を3,000円とする。

会長 村越 康 一

MEMO

昭和53年度新加入者名簿

5 3. 8. 1 現在

氏 名	勤 務 先	氏 名	勤 務 先
安 藤 瑞 穂	名古屋保健衛生大学病院	鈴 木 光 子	弘前大学教育学部
麻 生 ナミエ	厚生省看護研修研究センター	高 橋 しげ子	山形県大蔵村小学校
雨 森 ひろみ	弘前大学医学部附属病院	興 野 喜代美	愛国学園高等学校
相 内 せい子	〃	滝 幸 代	北里大学病院
阿 部 千鶴子	日本鋼管病院	谷 口 敏 代	岡山大学医学部附属病院
石 川 和 美	淀川キリスト教病院	田 嶋 留美子	海上自衛隊幹部候補生学校
今 平 きつき	鹿児島県医師会	武 田 美智子	
五十嵐 千賀子	弘前大学教育学部	田 島 圭 子	厚生省看護研修研究センター
伊 坂 光 子	徳島大学医学部附属病院	高 橋 朋 子	〃
速 藤 由美子	筑波大学医学部附属病院	武 田 敏 夫	千葉大学教育学部
岡 田 宮 子	東京医科大学看護専門学校	長 岡 多恵子	筑波大学医学部附属病院
緒 方 たづ子	神奈川県こども医療センター	長 友 伴 子	
雄 西 智恵美	北里大学病院	荻 原 悦 子	群馬県太田市立宝泉小学校
大 串 靖 子	弘前大学教育学部	原 子 典 子	
大 橋 くみ子	〃 医学部附属病院	原 田 紀久子	
大和田 恵 子	県立黒石高等学校	原 賀 史 子	
加 賀 淑 子	秋田県立能代高等学校	早 川 和 生	近畿大学公衆衛生学教室
河 野 松 美		平 川 美智子	聖路加国際病院
金 井 和 子	厚生省看護研修研究センター	本 田 芳 香	〃
葛 西 裕 子	弘前大学附属病院	松 永 弘 子	国立病院九州ガンセンター
北 本 美智代	筑波大学医学部附属病院	宮 本 博 恵	大阪府小林寺小学校
喜多嶋 龍 子	弘前 〃	宮 川 喜 代	千葉大学看護学部
熊 谷 久美子	千葉県松戸市常盤平第二小学校	麦 倉 千鶴子	栃木県自治医科大学附属病院
玄 田 公 子	滋賀県立短期大学	村 上 尚 美	
今 充	弘前大学教育学部	山 崎 昭 子	弘前大学医学部附属病院
佐 野 京 子	静岡県立磐田北高校	幸 恭 子	高知県立高知東高等学校
佐々木 洋 子	八戸市立市民病院	米 村 理 美	
島 田 圭 子		吉 岡 文 子	北里大学病院
		吉 武 香代子	千葉大学看護学部

※ 住所、勤務先変更の場合は事務局迄ご連絡下さい。

四大学看護学研究会々則

第1条（名 称）

本会は四大学看護研究会と称する。

第2条（目的及び活動）

本会は熊本大学，徳島大学，弘前大学，千葉大学の教育学部特別教科（看護）教員養成課程（四大学と称す）を中心として，広く看護学研究者を組織し看護学の教育，研究の進歩，発展に寄与することを目的として次の活動を行なう。

- 1) 会員の研究発表会の開催
- 2) 学術講演会の開催
- 3) 会員の研究業績の公刊
- 4) 関係学術団体との連絡，提携
- 5) その他目的達成に必要な活動

第3条（会 員）

会員は本会の目的に賛同し，世話人または既に会員である者の推せんを得て，所定の会費を納入した，看護学研究者を以て会員とする。

第4条（世話人会）

本会の運営に当って次の規定に従って世話人若干名をおき世話人会を組織する。

- 1) 世話人の選出は会員の互選による。
- 2) 世話人の任期は2年とし再任を妨げない。
- 3) 世話人の任期交代は4名宛交代することとする。
- 4) 世話人会は次の諸事項を分担する。
 - (イ) 企 画 (ロ) 連 絡 (ハ) 会 計（予算・決算）
 - (ニ) 編集・発刊 (ヘ) 渉 外 (ホ) そ の 他

第5条（会 長）

本会の業務を総理し，代表するものとして会長をおく。

- 1) 会長は世話人会の推せんにより総会の承認を受けた者とする。
- 2) 会長の任期は1年とし再任は妨げない。
- 3) 緊急な場合，世話人会の決議により会長の交代をすることが出来る。

第6条（会 議）

本会の決議，執行のために世話人会と総会を置く。

- 1) 会議の議事は出席者の過半数をもって決し，賛否同数の場合は議長が決する。
- 2) 会議における議事について議長は議事録を残さなければならない。

(1) 世話人会

- 1) 世話人会は会長が召集して総会の前に開催地で開催する。
- 2) 会長が必要と認めた場合臨時世話人会を召集する。
- 3) 世話人会は世話人の過半数が出席しなければならない。

(2) 総 会

- 1) 総会を毎年1回会長が召集する。
- 2) 世話人会の申し出があった場合、及び会員の過半数から会議の目的を示して総合開催の請求があった場合は会長は臨時総会を開催しなければならない。
- 3) 総会の議長は会長があたる。

第7条(会 計)

本会の運営は年会費及び本会の事業にともなう収入等による資金によって行なう。

会計年度は、年度4月1日より翌年3月31日までとする。

第8条(会 費)

会費は年会費2,000円と定める。

第9条(事 務 所)

本会の事務所を千葉市弥生町1～3番地

千葉大学教育学部、特別教科(看護)教員養成課程内に置く。

第10条(会則の変更)

会則の変更は世話人会の議を経て総会の決議によって行なう。

■ 大学看護学研究会雑誌

第1巻 臨時増刊号

昭和53年8月10日印刷

昭和53年8月20日発行

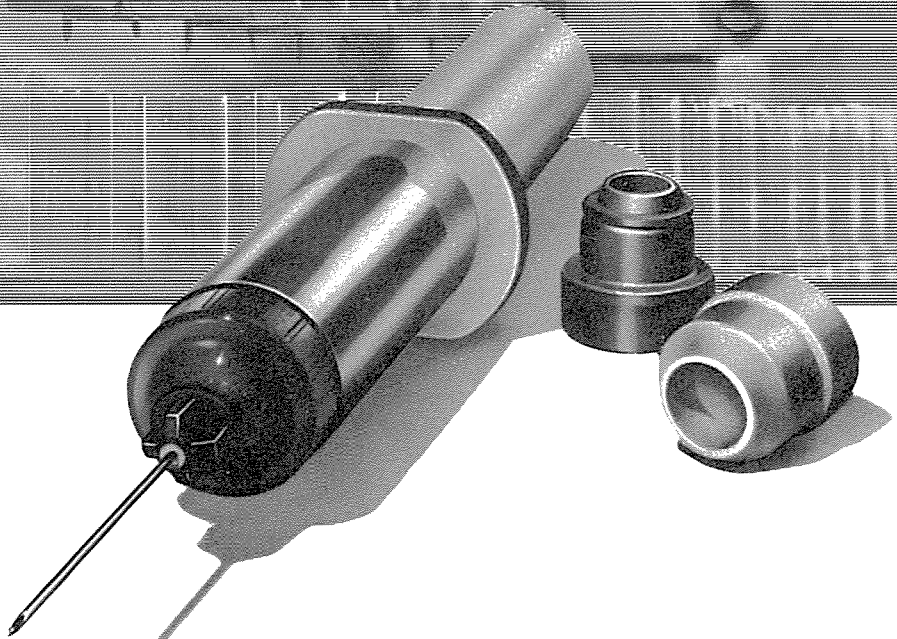
発 行 〒280 千葉市弥生町1番33号
千 葉 大 学 教 育 学 部
特別教育(看護)教員養成課程内
四 大 学 看 護 学 研 究 会

編集人 松 岡 淳 夫

印 刷 千 葉 市 都 町 1-54-19
尙 正 文 社 (33)2235

会 員 無 料 配 布
会 員 外 有 料 頒 布 (¥ 1,000)

●写真は、ベノジェクト
で採血した検体を、
APC-50Pを用いて、
ラルボ清浄試験管に
ピペッティングしてい
るところです。



血液検査の標準化時代。

自動分析機による検査の標準化。さらに、真空採血システム《ベノジェクト》の普及で、採血の標準化も進んでいます。

そして今、検体の前処理も標準化されようとしています。

- 700 検体を1時間でピペッティングするテルモ自動血清分取装置APC-50P
 - 1本1回使用で、容器に起因するデータのバラツキを防ぐラルボ清浄試験管
- 検体の前処理を自動化することにより、採血から検査までの全過程を標準化できる時代になりました。

ベノジェクトを中心としたテルモの検査関連製品は、血液検査の標準化と効率化を、着実に進めています。

真空採血システム

ベノジェクト®

**テルモ®自動血清分取装置
APC-50P**

ラルボ・清浄試験管

新
製
品

扱いやすい／破損しにくい／リアルな体形

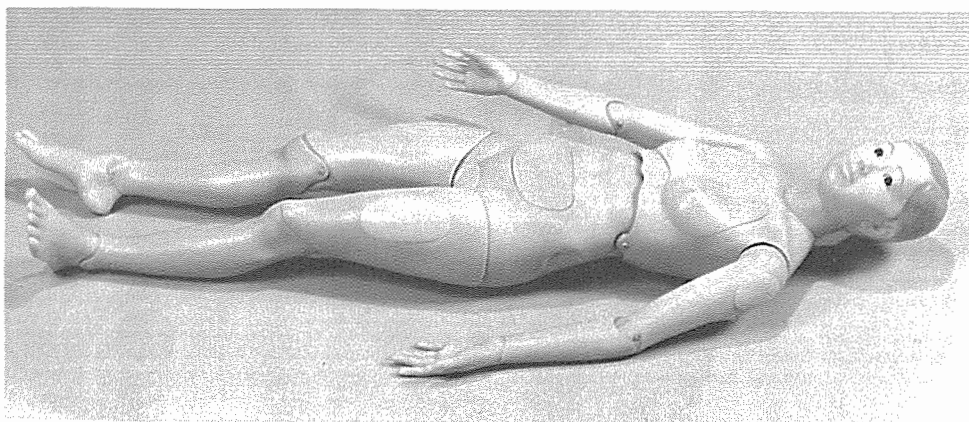
全身塩化ビニール製
特殊調合（半硬質・軟質）

実習モデル 〈ケイコ〉

看護実習用モデル人形 女子 トータルタイプ

¥250.000.

実習項目 注射、洗浄、浣腸、導尿、清拭、包帯など



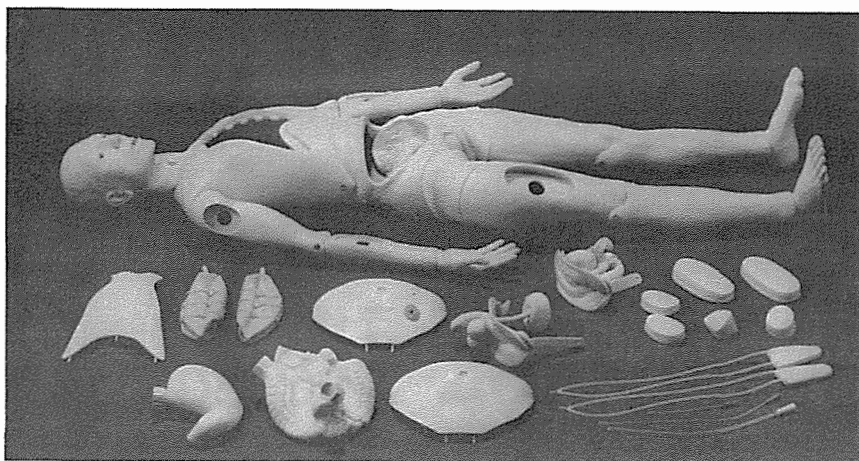
男性・女性の
両用に使える

万能実習モデル

¥650.000.

高度の柔軟性をもつ特殊樹脂製 全長 約175cm

実習項目 人工呼吸、注射、採血、洗浄、灌注、呼吸
挿管洗、套管挿入、清拭など



（看護教育用カタログ贈呈）



京都科学標本株式会社

本社 京都市中京区河原町通二条南 電 075 (211) 3501(代表)

東京 東京都千代田区神田錦町1の4 電 03 (291) 5231(代表)

福岡 福岡市中央区今川2丁目1-12 電 092 (731) 2518

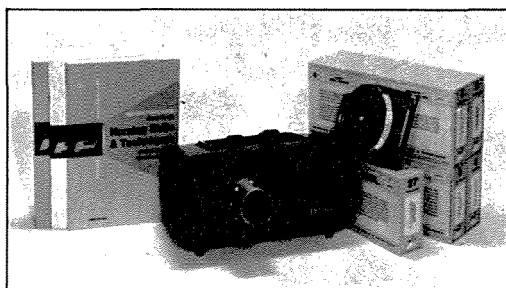
丸善の看護教材——8mmフィルム

看護教育の講義・個別学習に最適な8mmカラーループフィルム

Nursing Skills and Techniques

看護技術(全151巻)

(Prentice-Hall社製作/日本総代理店・丸善)



カラー8mmフィルム 全151巻

各巻¥13,500

教師用ガイド(3分冊)

フィルム1〜75, 76〜126, 127〜151

各冊¥1,910

専用映写機

テクニカラー820 D型

¥98,000

全151巻にわたるこの看護教育用8mmカラーフィルムは、近年の看護技術の著しい発展に即してデルタカレッジ看護学部 of L.E.Folgueros, C.M.Lange, C.M.Mertzによって編集・製作されたもので、優秀教材として世界各国で使われております。

フィルム各巻は、看護技術のそれぞれのテーマに合わせて独立した内容を持ち、基礎・母性・小児・成人看護の技術を具体的かつ明瞭に表現しており、看護の知識とテクニックを実践的な演技によって学ぶことができます。また教師用ガイドには、各フィルムの到達目的に関する説明、各場面の内容、解説に役立つ明確な注釈、より一層の研究のための参照リストなどが明示され、フィルムの効果的な利用法が解説されています。

看護学生の教育用にはもとより、第一線で活躍されている看護婦の方々の復習用に、あるいは、看護学生の学習用としておすすめいたします。

フィルム構成

I. 基礎技術関係 73巻

II. 母性看護関係 21巻

III. 小児看護関係 26巻

IV. 成人看護関係 31巻

●8mmループフィルム(エンドレスフィルム)

フィルムのセットや巻き戻し不要のカートリッジ方式を採用しており、専用映写機“テクニカラー820”にカートリッジをはめ込み、スイッチを入れるだけでご覧になれます。学習すべき内容を細かく分析し、その主概念のみを、2分30秒〜4分30秒の無声のカラーフィルムにまとめてあるため、十分に納得ゆくまで何回も繰り返して学習できます。

丸善では、このほかに〈看護教材〉に関連した国内・外の教材を豊富に取揃えております。内容・詳細については、お気軽に丸善・教育工学課までお問合せください。



東京本店：教育工学課

〔〒103〕東京都中央区日本橋2-3-10 ☎(03)272-7211 内線393